

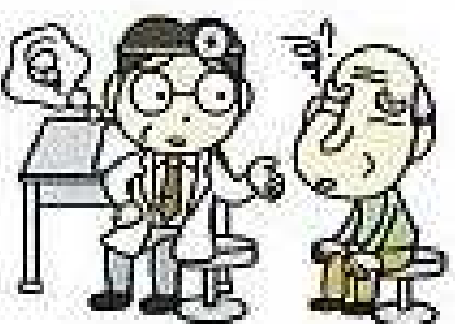
Q：認知症について教えてください。(Mのり)

A：認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったり、さまざまな障害が起こり、日常生活や社会生活に支障をきたすようになった状態です。原因疾患の第一位はアルツハイマー病であり、約6割を占めます。まだその原因は十分に解明されていませんが、脳の神経細胞が急激に減って、脳が萎縮する変性疾患とされています。

普遍的にみられる「中核症状」として、「直近のことを忘れる、同じことを繰り返し記憶する、同じことを繰り返す」「記憶障害」などがしばしば見られる。

いるのか分からなくなる「見当識障害」、計算力低下、判断力低下などの「認知機能障害」があります。患者によって出たり出なかったりする「周辺症状」には、幻覚・妄想・徘徊・異常な食行動・睡眠障害・不安・焦燥・暴言・暴力などがあります。

認知症による物忘れは、食事したこと自体を忘れたり、自分の家族が分からないと
いうようなものであり、食べた物や人の名前が思い出せないなど、
記憶の一部だけを忘れてい
るのは、老化による普通の物忘れです。



(岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニッコー北口駅前ビル2F)

TEL0555・2888・1800